

平成 21 年度事業計画書

(社) 日本ジュニアヨットクラブ連盟

(概要)

「国際交流・日本ジュニアヨットクラブ競技会 2009」は、一昨年と同じ東京都若洲ヨット訓練所に於いて開催する予定です。2016年オリンピックを東京都に招致したいという東京都、東京都ヨット連盟、江東区ヨット連盟並びに財団法人日本セーリング連盟の希望に賛同し、10ヶ国の海外チームを招聘して、東京都のオリンピック招致活動に協力したいと計画しています。全国のジュニアヨットクラブからも出来るだけ多くのクラブの参加を頂き、この東京オリンピック招致活動への支援と、安全な運営体制にご協力をお願いします。

5月に開催する東西日本地区大会は、東日本地区大会は昨年と同じ山梨県山中湖ヨットハーバーで、西日本地区大会は広島観音マリーナで開催する予定です。両大会とも、それぞれ開催地のジュニアヨットクラブ、県連の皆さんのご協力を頂きながら、一緒に自主的に活動し、大会中は参加クラブの指導者、保護者の皆さんのご協力や参画を頂いて、費用をあまりかけずに、意義のある大会にしたいと考えています。

全国の各水域で順次に中規模の地域普及大会を開催し普及活動を推進したいと、一昨年度から新しい企画の地域普及大会を開始しました。

「アサヒ飲料株式会社」に賛助会員になって頂き、初年度は北海道と東北の2水域で協賛金も頂き実施出来ました。昨今の景気状況から、毎年の協賛金についてはなかなか難しいようですが、引き続きお願いしてゆくつもりです。協賛金が頂けなくとも、競技会への「三ツ矢サイダーカップ」のタイトル使用と清涼飲料水の提供は頂くことが出来るので、補助金は少額となりますが今年も2地域で開催したいと具体案を検討しています。

指導者研修会の開催やユースセーリングの発行、ホームページの一層の充実を通じて、全国の会員への迅速な情報提供やクラブ運営の相談や情報交換等が積極的に行われるように努力します。

厳しい一般経済環境の中では、公的助成金の獲得は難しいので、限られた資金の効果的な運用と事務及び事業経費の節減を図っていく所存ですので、事情ご理解の上、当連盟の発展のため引き続きご協力をお願いします。

会費は出来る限り年度初めに納入して頂きたく、そのお願いや現況報告等その他連絡事項について、なるべく手間隙がかからず速やかに事務処理が出来るよう、会員各位のご協力を宜しくお願いします。

(部門別詳細)

1. 総務関係部門

(1) 新会員の獲得 (総務委員会／普及渉外委員会／財務委員会)

(イ) 引続き、B & G財団との協力関係を強化し、傘下海洋クラブの当連盟主催各競技会への参加を呼びかけて頂くと同時に、当連盟への加盟勧誘を継続的に図ることを努力します。

各競技会開催の機会を含め、クラブへ入るジュニアの増加や新規クラブの当連盟加盟促進に努力し、又、活動休止中或いは不活発なクラブへの支援に努力します。

(平成21年2月21日現在活動中64クラブ、休会13クラブ)

尚、クラブの代表者以外の正会員は18名ですので、正会員総数は82名です。(平成21年2月21日現在)

(ロ) 景気の後退もあり、賛助会員の新たな加入勧誘は極めて難しい状況が続いております。現在の賛助会員は「株式会社ライフサイエンス研究所」と「アサヒ飲料株式会社」の2社のみです。

引き続き新しい会員の獲得に努力をします。各クラブにおいてもそれぞれの地域で、種々アイデアを提案願い、企業や個人への呼びかけや各地での勧誘活動にもご協力をお願いします。

2. 指導育成関係部門

(1) 指導員育成事業 (指導育成委員会)

(イ) 指導者研修会を実施します。(年1回、2月通常総会時に実施する計画)

(ロ) 継続的な活動として、特に少年少女に奉仕の気持ちが育つように、当連盟主催各競技会開催時に「海浜、会場清掃運動」を指導していますが、各クラブにおいても、日常のクラブ活動の中で、「海浜の清掃運動」を柱に、引続き社会貢献と環境保護の気持ちを指導して頂くようお願いいたします。

8年前から続いている鳥取県ジュニアヨット協会の「中海を泳げる海にする」清掃活動のように、今後は、地元メディアの協力や環境省等のご指導ご支援を頂いて活動して行きたいと考えています。

3. 普及と広報関係部門

(1) 普及活動事業 (広報委員会／普及渉外委員会)

(イ) 全国大会や東西日本地区大会、各水域での地域普及大会の開催時等の機会を捉えて、各都道府県、関係市町村等地方自治体、教育委員会等の当局への広報、陳情活動を行い、当連盟の活動への理解をお願いし、競技会開催の後援、協賛、支援の要請を行います。

(ロ) 当連盟の加盟登録クラブがジュニアセーラー指導のため主として使用している艇種であるOP級、レーザー級、シーホッパー級等のクラス別協会とも連携を強化して、各艇種の普及と競技会への多数の参加によるジュニアヨットの普及活動に努力します。

- (ハ) B & G財団に対し、その傘下の海洋クラブの全国大会、東西日本地区大会、各水域での地域普及大会への参加の呼び掛けをして頂くよう働きかけ、協力関係を促進します。
- (二) 連盟ホームページを充実させて、連盟本部からの情報提供や会員からのイベント報告などをタイムリーに掲載出来るよう引き続き努力します。
- (ホ) 2010年3月に横浜市のパシフィコ横浜で開催予定の「ジャパンインターナショナルボートショー2010 in 横浜」に出展予定です。

(2) 出版事業等(広報委員会)

- (イ) 機関誌「ユースセーリング」の発行
編集委員会を定期的に開催し、内容の充実と定期発行(年2回、9月・3月)を目標とします。

(3) 競技会の開催(競技委員会)

- (イ) 第29回日本少年少女オープンヨット大会(東日本地区大会)
5月3日(日)～5日(火) 山梨県山中湖ヨットハーバーで開催予定
- (ロ) 第29回日本少年少女オープンヨット大会(西日本地区大会)
5月3日(日)～5日(火) 広島県広島観音マリーナで開催予定
- (ハ) 国際交流・日本ジュニアヨットクラブ競技会2009
7月31日(金)～8月2日(日) 東京都若洲ヨット訓練所で開催予定
- (二) 第19回ジュニアヨット国際親善レガッタ(ミキハウスカップ2009)
9月6日(日) 東京都若洲ヨット訓練所で開催予定

(4) 諸外国との親善交流事業(普及渉外委員会)

- (イ) 7月31日(金)～8月2日(日) 東京都若洲ヨット訓練所で開催予定の国際交流・日本ジュニアヨットクラブ競技会2009に10ヶ国より外国選手を招待し、国際交流を予定します。(韓国、中国、ロシア、ニュージーランド、オーストラリア、アメリカ、イタリア、デンマーク、ベルギー、イギリス、シンガポール、タイの中から10カ国)
- (ロ) 9月6日(日) 東京都若洲ヨット訓練所で第19回ジュニアヨット国際親善レガッタ(ミキハウスカップ2009)を開催し国際交流を予定します。
- (ハ) 11月6日(金)～9日(月)、ソウル特別市で開催予定の、東京都・ソウル市ヨット交歓競技大会ジュニアヨットレースに支援を行います。

(5) ジュニアヨットクラブ安全対策事業(指導育成委員会/普及渉外委員会)

- (イ) 7月31日(金)、国際交流・日本ジュニアヨットクラブ競技会2009の開会式後に参加選手、指導者・保護者に対し、特に大塚製薬(株)の協力を得て熱中症対策の安全講習会を実施します。
- (ロ) 平成22年2月開催予定の通常総会時に指導者研修会を実施しますが、その機会に、併せて安全講習会も実施します。

以上